

新たな農業施策を展開

平成19年度からの農業政策

農林水産省では、平成19年4月から、「経営所得安定対策等大綱」（平成17年10月）に盛り込まれた、品目横断的経営安定対策、米政策改革推進対策、農地・水・環境保全向上対策の3対策を実施し、農政改革を着実に推進していくこととしています。これを受け、町でも新たな農業施策を展開、これらの3対策に対応するための協議会を設立しました。

☆農業政策の主要3本柱

【米政策改革推進対策】 …南越前町水田農業推進協議会を設立

米の価格安定による農業所得向上を目指します。

- ・新たな米の需給調整システム(農業者が主体となった)の確立。生産調整に関する支援を行います。
- ・平成16年度から生産調整の仕組みが変わり、米政策改革を3年間実施。平成19年度からは第2ステージとして、生産調整の更なる実施に向け、新たな体制を整備します。

【品目横断的経営安定対策】 …南越前町地域担い手育成総合支援協議会を設立

世界貿易機関の農業交渉で、日本の農業農産物は厳しい立場にあり、これに対応するために、新たな政策を実施します。

- ・今までの品目別支援から、これからは担い手の経営全体に着目して支援します。担い手を明確化し、その担い手への支援を行います。

【農地・水・環境保全向上対策】 …南越前町農地・水・環境対策協議会を設立

今日の農業情勢を受け、農業が本来もつ自然循環機能を維持増進することが必要になりました。

- ・地域の農地・水・環境の良好な保全のために、農業生産にとって最も基礎的な資源である農地・農業用水などの保全を、そこに住む地域住民全員(農家だけでなく自治会・子供会・壮年会・婦人会など)で効果の高い共同活動及び先進的営農活動を実施。そのための活動費を支援していきます。

南越前町水田農業推進協議会

5月25日、南越前町水田農業推進協議会を設立しました。会では、需要に応じた米の生産を始め、水田農業の構造改革や水田を活用した作物の産地づくりを推進。水田農業、ビジョンの策定や産地づくり交付金の活用、生産数量目標の一般ルールや配分基準単収の設定などを行い、適正な生産調整や農業所得の向上を図るなど、関係機関一体となって農業の発展に取り組みます。

■協議会構成(敬称略)

会長 山口 務(JA越前
たけふ経営管理委員代表)

副会長 川野順万(副町長)

監事 三田村巨(町営農協
議会長) 勝見 太(町農家組
合代表)

委員 谷崎信雄(町農業委員
会長) 笛吹 巧(南条担い手
農家連絡協議会長) 森下英一
(今庄認定農業者連絡協議会長)

龍勝良文(県農業共済組合第
2事業部長) 山口重一(JA
越前たけふ指導部長) 坂井諭
一(越前たけふ農業公社代表)

事務局長 大久保健一(JA
越前たけふ南条支店長)

南越前町地域担い手育成総合支援協議会

7月10日、南越前町地域担い手育成総合支援協議会を設立しました。会では、町や県、他に担い手育成の管理機関であるJAと、町農業委員会や担い手の代表者らを含めた新たな形をとり、政策に対応するための担い手育成のほか、後継者づくりや各種生産組織の育成、女性起業の育成などを図りながら、各種事業を各団体が連携をもって進めていきます。

■協議会構成(敬称略)

会長 川野順万(副町長)

副会長 谷崎信雄(町農業委員
会長)

監事 大久保健一(JA越
前たけふ南条支店長) 土本俊
三(同今庄支店長)

委員 下川 徹(同河野出
張所支店長) 笛吹 巧(南条
担い手農家連絡協議会長) 森
下英一(今庄認定農業者連絡
協議会長) 川島 保(河野地
区認定農業者代表) 大崎隆幾
(南越農林総合事務所農業経営
支援部長)

事務局長 坂本和彦(農林水
産課長)